



デコ活応援団（新国民運動・官民連携協議会） 第8回会合

令和5年9月8日（金）



脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

9月8日（金）10時00分～ オンライン

- ① これまでの動き（報告・お願い）
 1. デコ活
 2. 予算要求
 3. 国際関連
- ② 会員からのプロジェクト提案、意見・要望等
- ③ 暮らしの10年ロードマップ^o（たたき台：現状と課題）
- ④ 次回情報

質疑応答、意見交換時の留意事項

- 多くの方に発言いただけるよう、発言は簡潔明瞭に1～2分程度でお願いします。
- 発言を希望される方は、Zoom上で挙手又はQ&Aへの送信をお願いします。
- 直前の発言に関連した質問等がありましたら、Q&Aに「関連」と送信してください。

デコ活のロゴマーク、メッセージ、アクションの決定

- デコ活のロゴマーク等が決定しましたので、ぜひ積極的にご活用ください！
- 「デコ活アクション」を推進いただき、国民・消費者を後押しする製品・サービス、取組をお願いします

ロゴマーク・メッセージ・具体的なアクション

8月30日掲載 新聞広告

デコ活
暮らしの中のエコろがけ

デコ活アクション まずはここから

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

デコ活
暮らしの中のエコろがけ

「デコ活」は、暮らしを豊かにし、CO₂を減らす環境にやさしいアクションです。
(De・CO₂) (Eco)

デコ活の生みの親

デコ活応援団

環境省 地球環境局 デコ活応援隊

※ ロゴのDLについては、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/join.html>から確認を。

「デコ活アクション」一覧

分類		アクション
まずはここから	住 デ	電気も省エネ 断熱住宅 （電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
	住 コ	こだわる楽しさ エコグッズ （LED・省エネ家電などを選ぶ）
	食 カ	感謝の心 食べ残しゼロ （食品の食べ切り、食材の使い切り）
	職 ツ	つながるオフィス テレワーク （どこでもつながれば、そこが仕事場に）
ひとりでのCO2 が下がる	住	高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移	環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住	太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住	ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移	できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買	はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住	宅配便は一度で受け取る

※ デコ活アクションの詳細については、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/action/>から確認いただけます（今後随時追加更新予定）

「デコ活宣言」と「#デコ活」での発信

- 広く組織（企業・自治体・団体）、個人単位で「デコ活宣言」をいけられるようお願いします！
- 日々のデコ活の取組を「#デコ活」としてSNS等で発信し、広げていただくようお願いします

○すでに358の企業・自治体・団体の皆様に「デコ活宣言」をいただいています（令和5年9月6日時点）

○SNS上で発信いただいた「#デコ活」については、環境省SNS等でも情報発信を行います

「デコ活宣言」の例

日本経済団体連合会

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！

宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

経済界は、カーボンニュートラル型の製品・サービスの開発・社会実装を通じ、「経済と環境の好循環」を創出しながら、「グリーン・トランスフォーメーション(GX)」の実現を目指します。
加えて、テレワークやデジタル化の推進により新たなワークスタイルの普及に取り組むなど、他のステークホルダーとともにデコ活を推進してまいります。

東京都

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！


宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

・デコ活やHTTをキーワードに、脱炭素につながる支援策や各種制度を強力に推進していきます
・都府施設への太陽光パネル設置など、都の率先行動を強力に推進していきます



「#デコ活」によるSNS発信の例



Kwccca 川崎市地球温暖化防止活動推... 1日 ...
「Green carb0n-club」アプリ  は活用してますか？
エコアクションやアンケートに答えてGreenポイントを貯めて、川崎市内のお店や事業者さんとポイント交換！

あなたのエコな行動で、
ココロも地球もジモトにもやさしい🌱💖
carb0n-club.com
#エコ #川崎市 #脱炭素 #デコ活 #エシカル



carb0n-club.com
みんながつながる環境アプリ / Green Carb0n Club / 川崎市 / グリーンカーボン...



伊勢崎市 @isesakicity_lg · 1日 ...
伊勢崎市は、地球温暖化防止のための新しい国民運動「デコ活」に取り組むことを宣言しました。
#伊勢崎市 #環境政策課 #地球温暖化 #デコ活 city.isesaki.lg.jp/soshiki/kankyo...



長野市地球温暖化防止活動推進セン... 1時間 ...
今年の夏はとんでもなく暑かった。
#地球温暖化 はどどん進んでいる!?

そこで #脱炭素 につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「#デコ活」がスタートしています

一人一人の日常の取組が地球を変える大きなうねりになるので皆さんも参加しよう！



デコ活を冠した組織・制度・予算

- 組織・制度・予算に愛称を付け、ワンボイスで普及を後押ししていきますので、ご協力ください
- 会員の皆様から頂いた予算提案・要望も踏まえ、「デコ活予算」として2,830億円を要求中です

組織・制度・予算	愛称
環境省 脱炭素ライフスタイル推進室	デコ活応援隊
新国民運動・官民連携協議会	デコ活応援団
豊かな暮らしを後押しする関連予算すべて	デコ活予算
全国地球温暖化防止活動推進センター	デコ活ジャパン
地域地球温暖化防止活動推進センター	デコ活ローカル
地球温暖化防止活動推進員	デコ活推進員

一般会計、エネルギー対策特別会計におけるデコ活関係予算の合計 2,830億円（令和6年度環境省概算要求）

＜主なデコ活関係予算＞

- ・ 「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業：50億円
- ・ 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援：1,170億円
- ・ 商用車の電動化促進事業：341億円 など

※ デコ活関係予算の詳細については、<https://www.env.go.jp/content/000156830.pdf>から確認いただけます



デコ活の推進を通じて、「新しい豊かな暮らし」とその先にある「脱炭素目標の達成」を実現します。

1. 事業目的

「デコ活」(新しい豊かな暮らしを創る国民運動)の推進を通じて、2030年度に2013年度比46%(特に家庭部門では66%)削減及び2050年カーボンニュートラルを実現することを目的とする。このために、「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを社会実装するためのプロジェクトの展開、地球温暖化対策推進法に基づく普及啓発推進、ナッジ×デジタルによるライフスタイル転換促進の実証等を実施する。

2. 事業内容

(1) デコ活推進に係る社会実装型取組等支援

デコ活の推進のためのプラットフォームであるデコ活応援団(官民連携協議会)を運営し、自治体・企業・団体・消費者等と連携を図りながら、デコ活を国民運動として推進する。また、国の予算を根拠に民間資金を動員し、「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを効果的・効率的に社会に実装するためのプロジェクトを実施する。

(2) 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく普及啓発推進

温対法第39条及び第38条に基づき、全国地球温暖化防止活動推進センター(デコ活ジャパン)及び地域地球温暖化防止活動推進センター(デコ活ローカル)によって、地域でのデコ活を図るため、調査・情報収集・普及啓発・広報等を実施する。

(3) ナッジ×デジタルによる脱炭素型ライフスタイル転換促進

デジタル技術により脱炭素につながる行動履歴を記録・見える化し、地域で循環するインセンティブを付与する等、日常生活の様々な場面での行動変容をBI-Tech*で後押しするための国民参加体験型のモデルを実証し、構築する。

*行動科学の知見(Behavioral Insights)とAI/IoT等の先端技術(Tech)の組合せ

3. 事業スキーム

■ 事業形態

(1)委託事業・間接補助事業(補助率 定額) (2)委託事業・間接補助事業(補助率 7/10) (3)委託事業

■ 委託先等

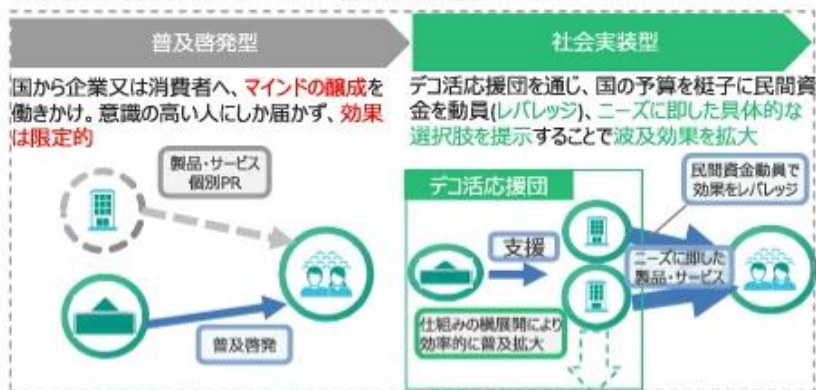
委託事業:民間事業者・団体等、補助事業:地方公共団体、民間事業者・団体等

■ 実施期間

(1)令和6年度~令和12年度 (2)令和6年度~ (3)令和6年度~令和8年度

4. 事業イメージ

従来の「普及啓発型」から、自治体・企業・団体等と連携して、消費者の行動変容を図る「社会実装型」の取組中心へとシフト



官民連携の下、衣食住/移動/買い物など、暮らしのあらゆる領域において「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」を強力に後押し

「デコ活」推進事業（新たな補助金）に関する事業提案・相談のお願い

- 50億円の新規予算、特に新たな補助金に関する事業提案・相談を前広に募りますので、奮ってご提案・相談ください！

新たな補助金のイメージ

- ・国民・消費者の行動変容・ライフスタイル転換（脱炭素につながるアクションの実施や製品・サービスの選択）が広く促進されるソフト事業（ハード以外）への支援
- ・総事業費の一定割合を定額で補助
- ・その他、既にご案内しているシードマネー（スライド47）と同じ考え方です

募集期間（第1次提案・相談）

9月22日（金）までに事業ニーズの御教示、事業の提案・相談を事務局/環境省までお願いします

(参考) デコ活予算一覧

一般会計、エネルギー対策特別会計におけるデコ活関係予算の合計 2,830 億円

(単位：億円)

1. 一般会計におけるデコ活関係予算

合計 55

- ・ 環境保全普及推進費 1
- ・ グリーン購入・契約推進 (グリーン購入・契約推進経費) 1
- ・ 環境パートナーシップ推進費 1
- ・ 市民活動等支援事業 2
- ・ 環境教育・ESD 推進経費 3
- ・ 意識変革及び行動変容につなげるナッジの横断的活用推進事業 0.3
- ・ 地域循環共生圏の創出・拡大 (地域循環共生圏創造事業費) 5
- ・ 熱中症対策の推進 (熱中症対策推進事業) 5
- ・ 良好な環境の創出促進事業 0.3
- ・ 海洋プラスチックごみ総合対策費 (プラスチック・スマート分) 0.2
- ・ 国立公園等利用等推進事業費 19
- ・ 温泉の保護及び安全・適正利用推進費 0.3
- ・ 循環型社会形成推進事業等経費 3
- ・ 食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費 2
- ・ 循環経済移行促進事業 7
- ・ プラスチック資源循環等推進事業費 2
- ・ 「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) 推進事業 5

2. エネルギー対策特別会計におけるデコ活関係予算

合計 2,775

- ・ 地域脱炭素の推進のための交付金 660
- ・ 防災拠点や避難施設となる公共施設への再生可能エネルギー設備等導入支援 (地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業) 40
- ・ 初期費用ゼロ型太陽光発電等の再生可能エネルギー設備全国導入加速化支援 (民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業) 193
- ・ 住宅の ZEH・省 CO2 化促進事業 124
- ・ 建築物等の ZEB 化・省 CO2 化普及加速事業 150
- ・ 「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) 推進事業 45
- ・ 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省 CO2 加速化支援 1,170
- ・ 商用車の電動化促進事業 341
- ・ バッテリー交換式 EV とバッテリーステーション活用による地域貢献型脱炭素物流等構築事業 9
- ・ 地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業 20
- ・ 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業 5
- ・ 脱炭素社会の実現に向けた取組・施策等に関する情報発信事業 4
- ・ バリューチェーン全体での企業の脱炭素経営普及・高度化事業 14

断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業 (経済産業省・国土交通省連携事業)



【令和6年度要求額 117,000百万円 (令和4年度第2次補正予算額 9,967百万円)】

暮らし関連分野のGXを加速させるため、断熱窓への改修による即効性の高いリフォームを推進します。

1. 事業目的

- ・既存住宅の早期の省エネ化により、エネルギー費用負担の軽減、健康で快適な暮らしの実現、2030年度の家庭部門からのCO₂排出量約7割削減(2013年度比)に貢献し、暮らし関連分野のGXを加速させる。
- ・先進的な断熱窓の導入加速により、価格低減による産業競争力強化・経済成長と温室効果ガスの排出削減を共に実現。
- ・2050年ストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保に貢献。

2. 事業内容

①既存住宅における断熱窓への改修を促進し、暮らし関連分野のGXを加速させるため、以下の補助を行う。

既存住宅における断熱窓への改修

補助額：工事内容に応じて定額(補助率1/2相当等)

対象：窓(ガラス・サッシ)の断熱改修工事

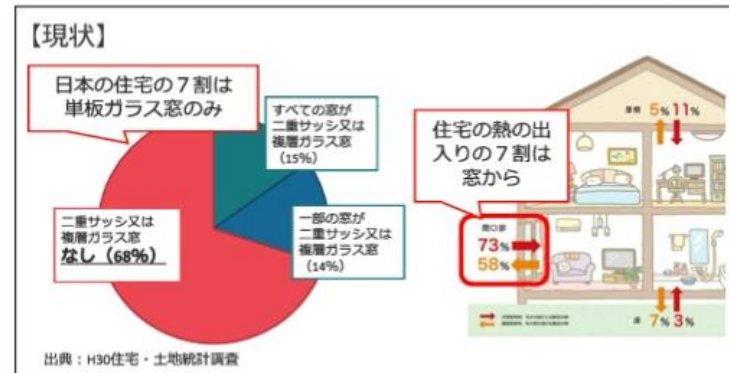
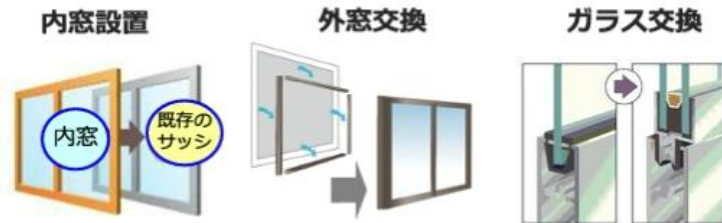
(熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの)

②本補助事業の運営に必要な、データ管理・分析等の支援を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 ①間接補助事業 ②委託事業
- 補助対象・委託先 ①住宅の所有者等 ②民間事業者・団体
- 実施期間 令和4年度～

4. 補助事業対象の例



商用車の電動化促進事業 (経済産業省、国土交通省連携事業)



【令和6年度要求額 34,100百万円 (13,599百万円)】

2050年カーボンニュートラルの達成を目指し、トラック・タクシー・バスの電動化を支援します。

1. 事業目的

- 運輸部門は我が国全体のCO2排出量の約2割を占め、そのうちトラック等商用車からの排出が約4割であり、2050年カーボンニュートラル及び2030年度温室効果ガス削減目標 (2013年度比46%減) の達成に向け、商用車の電動化 (BEV、PHEV、FCV) は必要不可欠である。
- このため、本事業では商用車 (トラック・タクシー・バス) の電動化に対し補助を行い、普及初期の導入加速を支援することにより、価格低減による産業競争力強化・経済成長と温室効果ガスの排出削減を共に実現する。

2. 事業内容

本事業では、商用車 (トラック・タクシー・バス) の電動化 (BEV、PHEV、FCV※) のための車両及び充電設備の導入に対して補助を行うことにより、今後10年間で国内投資を呼び込み、商用車における2030年目標である8トン以下：新車販売の電動車割合20~30%、8トン超：電動車累積5000台先行導入を実現し、別途実施される乗用車の導入支援等とあわせ、運輸部門全体の脱炭素化を進める。また、車両の価格低減やイノベーションの加速を図ることにより、価格競争力を高める。

具体的には、省エネ法に基づく「非化石エネルギー転換目標」を踏まえた中長期計画の作成義務化に伴い、BEVやFCVの野心的な導入目標を作成した事業者や、非化石エネルギー転換に伴う影響を受ける事業者等に対して、車両及び充電設備の導入費の一部を補助する。

※BEV：電気自動車、PHEV：プラグインハイブリッド車、FCV：燃料電池自動車

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業 (補助率：2/3、1/4等)
- 補助対象 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和5年度より実施

4. 事業イメージ

【トラック】 補助率：標準的燃費水準車両との差額の2/3 等

補助対象
車両の例



EVトラック/バン



FCVトラック

【タクシー】 補助率：車両本体価格の1/4 等

補助対象
車両の例



EVタクシー



PHEVタクシー



FCVタクシー

【バス】 補助率：標準的燃費水準車両との差額の2/3 等

補助対象
車両の例



EVバス



FCVバス

【充電設備】 補助率：1/2 等

補助対象
設備の例



充電設備

※原則として、上述の車両と一体的に導入するものに限る

G20環境・気候持続可能性大臣会合の実施結果

- G20でも、**持続可能なライフスタイルや消費・生産パターンへ移行することの重要性**などがクローズアップされました
- 「デコ活」を国内のみならず、G7/G20やCOP28などグローバルに展開していきますので、ご協力をお願いします

G20環境・気候持続可能性大臣会合

日程	令和5年7月28日（金）	参加国等	参加国：日本、インド、イタリア、英国、米国、欧州連合(EU)などG20各国他、招待国、招待機関
----	--------------	------	---

成果文書全文
(和訳)

【#6】

我々は、インドG20議長国としてのテーマである「一つの地球、一つの家族、一つの未来」への支持を表明する。我々は、シャルム・エル・シェイク実施計画で指摘された気候変動、汚染、砂漠化、及び昆明・モントリオール生物多様性枠組に沿った生物多様性の損失への取組において、**持続可能なライフスタイル及び持続可能な消費・生産パターンへの移行の重要性に留意する**。我々は、持続可能な消費と生産に関するSDG12達成の重要性を強調する。我々は、持続可能な開発のためのライフスタイルに関するG20ハイレベル原則に謝意を持って留意する。

【#19】

我々は、世界の温室効果ガス排出削減における需要側対策の可能性に関するIPCC AR6の統合報告書からの知見を認識する。我々は、持続可能な消費者の選択と嗜好の強化に関する国際協力と経験及び優良事例の共有を促進する。我々は、この点において、教育、訓練、啓発、参加及び情報へのアクセスが重要な役割を果たすことを認識する。私たちはまた、異なる政府制度を考慮しつつ、**環境に配慮したライフスタイル、知識の共有、都市間連携の促進等、地域のニーズや環境条件に応じた気候行動と移行を行う上で、都市、地域、地方自治体が果たす重要な役割を認識する**。



समृद्धि कुटुम्बकम्
ONE EARTH - ONE FAMILY - ONE FUTURE

G20 Environment and
Climate Ministers' Meeting
Outcome Document and Chair's Summary

Chennai, India
28 July 2023



新規の連携実践プロジェクト



- 新たに2件のプロジェクト提案があり、連携先を募集します。御関心あれば、事務局までご連絡ください
- 各プロジェクトについてご質問があれば、本日の質疑応答の場でも、頂戴できれば幸いです

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ付与により消費者の節電を促すアプリ・機能の普及・強化

- 内容：消費者に節電を促すスマホアプリやアプリを構成する個別機能 (DRシステム、インセンティブ付与など) の利用シーンを拡大し、また幅広いシーンでの消費者の脱炭素行動のさらなる促進に向け追加機能を共同開発・強化

インセンティブ

百貨店の催事場にて、脱炭素製品の購入、ゼロカーボンシティ宣言都市へふるさと納税による直接寄付ができるイベント「ピースフォーアース」の開催

- 内容：脱炭素配慮型の消費財メーカーや脱炭素の取組に積極的な自治体が出展し、百貨店の催事場にて製品を販売/ふるさと納税の返礼品を提供するイベントを実施
- 日時：令和6年3月
- 場所：東京都の百貨店

応援拠点

百貨店

都内の店舗の催事場をイベントスペースとして提供

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者
SBパワー

「エコ電気アプリ」全体や「エコ電気アプリ」が搭載する機能を提供

電気小売事業者

「エコ電気アプリ」やエコ電気アプリが搭載する機能を、自社の電気利用者向けに展開し、節電を促進

連携先募集：随時

その他事業者

節電アプリとの連携により、消費者の脱炭素に繋がる行動を促す仕組みを共同で検討・開発

連携先募集：随時

提案者
フォーエヴァーグリーン

「ピースフォーアース」の企画・主催

消費財メーカー

イベントに出展し、食料品や日用雑貨など脱炭素に貢献する製品を紹介・販売

連携先募集：令和6年1月まで

自治体 (ゼロカーボンシティ宣言都市)

ふるさと納税返礼品の紹介ブースの出展 (返礼品をその場で返礼をすることも検討中)

連携先募集：令和6年1月まで

■ 8 件の提案・ご意見を頂戴しました。広くご紹介させていただくとともに、生かせるように善処します

ご意見・ご提案	件数	概要
募集期間：2023年7月21日(金)-8月25日(金)	8件	・愛称使用提案・デコ活自体の質問・協議会活用の相談・テレワーク・人材教育・クールビズ・ウォームビズを推進するためのご意見などをいただきました (詳細は別添資料をご参照ください)
東京都	デコ活の具体的な使用提案	各自治体や事業者が脱炭素に向けた取組を実施する際に「デコ活東京」などのように、「デコ活+自治体名（事業者名）」のフレーズを使用して、「デコ活」の機運醸成と取組実施を加速させる。また、脱炭素に向けた取組をSNSで発信する場合「#デコ活東京」のように「#デコ活+自治体名（事業者名）」で発信する。なお、自治体名には都道府県や区市町村の名称が入ることを想定。
	デコ活の使用を促すために必要な方策・意見	8月29日の環境大臣の会見の場などを活用して、上記の使用方法を発信していただくことで全国各地域におけるデコ活の使用を促すことを提案します。
NPO 法人 Blue Earth Project	国民運動全般	脱炭素化社会の実現に向け、まずは学校の垣根を越えて生徒同士がそれぞれの活動を報告しあったり質問しあったり、テーマやミッションを設けてZoom等で会議をしたりといったことをBlue Earth Projectでもできればと考えましたが、そういう既存の取り組みや団体があれば参考にしたり連携を行いたい。 脱炭素アクションスクールといったような認定制度のようなものは今後協議会で検討の余地はあるものか？

■ 1件のプロジェクトの実施結果を報告します

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

「製品・サービス」の提供者

応援拠点

「100万人のキャンドルナイト@増上寺2023」に連動した施設の消灯協力

- 内容：東京タワーなど増上寺周辺施設を消灯し、キャンドルの灯りの下で持続可能な社会について考えるイベントを開催
<https://candle-night.tokyo/>
- 日時：2023年6月21日

提案者

大地を守る会

「100万人のキャンドルナイト@増上寺2023」のイベント主催、ブース出展の呼びかけ、当日の運営・進行

企業

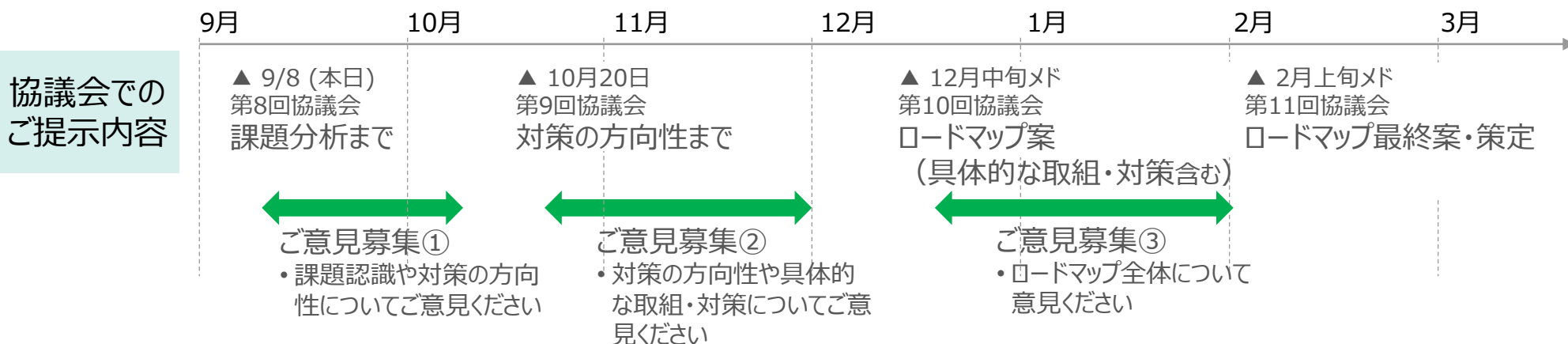
イベントの開催日とその前の期間（6/14-21）の20-22時の間に、消灯に協力
また取組をSNS等で発信

実施結果

- 消灯への呼びかけ
 - 日時：6月15日～21日
 - 内容：消灯に参加する企業・施設・店舗の募集
 - 参加団体：25団体
- SNS実績
 - 「#（ハッシュタグ）100万人のキャンドルナイト」
 - 98,337インプレッション

「暮らしの10年ロードマップ」の策定

- 新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）に基づき、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを実現するための必要な方策・道筋を示す
「暮らしの10年ロードマップ」（仮称）を本協議会（デコ活応援団）で議論いただき、今年度中に策定する予定ですので、ご協力をお願いします
- 暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を大きく7つの分野に分け、それぞれ見込まれる**課題・ボトルネック**に対応する**取組・対策**を明らかにしてロードマップに位置づけ、政府として必要な**支援・政策**を最大限実施しますので、ぜひ積極的にインプット、ご意見いただきますよう、お願いします！
- 今回はキックオフとして、事務局から、ゴールに対する現状と課題・ボトルネックの叩き台をお示しますので御議論の上、**10月6日までにご意見を頂戴できれば幸いです（課題や対策の方向性など）**



- 意見提出は、事務局に直接いただくか、スモールグループでご議論・ご意見を頂戴するか、いずれかをお願いします
- ご不明点・ご質問・ご意見は事務局 Decarbonized@bcg.com までご連絡ください

① 環境省・事務局からの発信



新資本主義実行計画・骨太方針

■ 新資本主義実行計画及び骨太方針において、新国民運動による国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、脱炭素製品の需要を喚起することが重要施策として位置付けられました。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画

骨太の方針

政策概要

- 新しい資本主義実現会議によって策定（議長：岸田総理）
- 令和5年6月16日閣議決定

- 経済財政諮問会議によって策定（議長：岸田総理）
- 令和5年6月16日閣議決定

新国民運動 関連の記載 (抜粋)

③ 持続可能な地域経済社会の実現

- i) 消費者の行動変容、地域主導の取組の推進 地域・くらしの脱炭素化を実現するため、国民運動を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、需要を喚起する。
(後略)

(前略)

新たな国民運動の全国展開等により、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革を促し、脱炭素製品等の需要を喚起する。環境制約・資源制約の克服や経済安全保障の強化、経済成長、産業競争力の強化に向け、産官学連携のパートナーシップを活用しつつ、サーキュラーエコミー（循環経済）の実現に取り組む。（後略）

「成長戦略等のフォローアップ案」

(前略)「**脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動**」を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革等を促すため、**グリーンライフ・ポイントやナッジの活用等も含めたロードマップを2023年度中に策定する。**

ロードマップのスコープ（暮らし全領域を大きく7分野に）

脱炭素につながる新しい豊かさを暮らしの10年後

住[外]

住宅の省エネ・再エネ化
(断熱化、太陽光発電等)

衣

クールビズ・ウォームビズ、
サステナブルファッションの実践

住[内]

エコグッズの選択
(LED、家電、給湯、節水等)

買・食

地産地消、適量購入・食べきり
ゴミの削減・分別

職

デジタルワークの実践
(テレワーク等)

移

次世代自動車の導入
環境負荷がより少ない移動
へのシフト

基盤

情報（教育・ナッジ）
インセンティブ

大
年
災

がある方は
なで

はかり売り・自動決済
年3時間 UP
好きなものを好きなだけ

LED照
年3千円
年0.4時

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円 DOWN

年1.2万円 DOWN

次世代自動車

年4千円 DOWN

クールビズ・
ウォームビズ
年4千円 DOWN

地産地消・食べきり
年9千円 DOWN

毎月3万6千円浮きます (年43万円)

一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)

【住[外]】住宅の省エネ・再エネ化（断熱化、太陽光発電等）

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

2030年度末までに住宅ストックの30%を省エネ基準に適合（温対計画）

- 断熱リフォームにより約5%を省エネ基準に適合させる（今後8年間平均で41万件/年）
- 太陽光発電は、新築戸建住宅の6割への設置を目指す（エネルギー基本計画）

現状

- 2021年度における断熱リフォームの年間実施件数は28万件
- 2021年度の新築戸建住宅への太陽光導入率は22%

ボトルネック

- ① 住宅の高断熱化・省エネ化・創エネについての認知・理解の機会が限られている
 - リフォームへの関心が限られ、特に、省エネ化（断熱リフォーム、太陽光発電設備の導入等）について検討のきっかけが限られる
- ② 一時費用負担が重い
 - 住宅の省エネ化にはまとまった費用が必要で、高い負担となる
- ③ 需要集中により納期が長期化する
 - リフォームは窓リノベなど受注生産を基本としたものがあり、注文が集中すると納期が長期化する

【住[内]】エコグッズの選択（LED、省エネ家電、給湯器、HEMS、節水機器等）

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

新しく環境に優しい製品(エコグッズ)により、古い家電・製品の置換えやスマート機器が広く普及

- 温対計画では、2030年度末までに高効率給湯器を累計4,940万台、HEMSを累計4,941万台の導入が目標

現状

エコグッズは市場に流通しているが、既存ストックの置換えは道半ば

- 2021年度末までに高効率給湯器は2,094万台、LED照明は4.2億台、HEMSは740万台が導入済み
- エアコン・冷蔵庫は約5割が10年以上前の製品を利用。節水機器は1~3割の導入に留まる

ボトルネック

① 認知する機会・選択する機会が限られている

- 節水機器、LED照明、HEMSの認知度が低く、経済的・環境的なメリットが認識されていない
- 省エネ家電と高効率給湯器は、故障時以外の交換需要が少なく、選択する機会が限られている
 - 故障交換時は、早期復旧のニーズが高いため高効率製品が検討の遡上に上がらない

② 従来品よりも販売費用が高く工事負担もある

- エコグッズは従来品よりも費用負担感が高い
- 高効率給湯器、一部のLED照明、HEMSでは、工事手配の手間・時間の負担感も高い

③ 既存住宅・設備への導入には技術的な制約が伴う

- 高効率給湯器(潜熱回収型)は、ドレン排水処理が必要で、既存集合住宅等への導入が困難な場合がある
- HEMSは導入・操作に一定のIT知識・スキルが求められ、機器間の互換性が限られる場合がある

【衣】クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

クールビズ・ウォームビズが全国民で実践され、サステナブルファッションの取組が一般に普及

- 温対計画では、2030年度までに、クールビズ・ウォームビズをそれぞれ実施率100%とすることが目標

現状

- 2021年度におけるクールビズ/ウォームビズの実施率は76%~92%
- 同サステナブルファッションの実施率は4%

ボトルネック

① 認知する機会・選択する機会が限られている

- クールビズ/ウォームビズは長年実施され一般化されているが、サステナブルファッションは、言葉以上に実践方法や購入場所まで把握する機会がない

② 業界慣行や職場のドレスコードのため、実践が困難

- クールビズ/ウォームビズは、ドレスコード、安全性、業界慣行等から従業員の意識変革だけでは変えられない

【買・食】地産地消、適量購入・食べきり、ゴミの削減・分別

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

持続可能な食習慣 (地産地消・必要な分の購入・食べきり) やゴミの削減・分別が広く国民で当たり前実践される

- 2030年度までに、地産・旬産の食材を容易に購入できる状態とし、その購入の実施率を30%に高める
- 2030年度までに、家庭からの年間食品ロス発生量を216万トンまで削減する (第四次循環型社会形成推進計画)
- 2030年度までに、廃プラスチックの焼却量を278万トンまで削減する

現状

- 2023年度の地産地消の実施率は15%
- 2021年度の家庭の食品ロス発生量は244万トン、廃プラスチック焼却量は365万トン

ボトルネック

- ① **持続可能な食習慣 (地産・旬産・食べきり) に興味・関心がない**
 - 食材の産地や旬、自身や家庭の食事量等について関心がなく、把握していない
 - 期限表示 (賞味期限、消費期限) について知識・関心がない
- ② **食品ロス削減やゴミ削減・分別の重要性を認識しても、実践する意欲がない**
 - 外食時、持ち帰りはみっともない等の意識から、持ち帰りに消極的
 - 資源物の再利用やラベル等の分別が面倒で、ゴミの削減・分別に消極的
- ③ **実践したくても、情報がなく価格も高いため、ハードルが高い**
 - 実践するための情報や効果についての情報が不足している
 - 地産・旬産の食材を購入できる場所、食品ロスを削減できる調理法等の実践方法を知らない
 - 自治体で廃プラスチックの分別回収を実施していない等により、どう分別・廃棄してよいかわからない
 - 都市部近郊で生産された食品は、地方部や外国産の食品に比べて高価

【職】 デジタルワークの実践（テレワーク等）

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

- ICT等の活用により、全ての人が、望んだ時に自宅等の最適な場所でのテレワーク（デジタルワーク）を選択できる
- デジタル社会の実現に向けた重点計画では、2025年度の雇用型テレワーカーを全国平均で25.0%とする目標

現状

- コロナ禍では一時5割に迫ったテレワーク実施率は、その後の出社回帰により約2割まで減少

ボトルネック

- ① テレワークに対する関心・興味がない
 - 都市部では、コロナ禍の沈静化に伴い、感染症対策としてのテレワークへのニーズが薄れる
 - 他人との密接等の通勤ストレスの少ない地方部の自動車通勤者は、コロナ禍に関係なく、テレワークへの関心は高くない
- ② テレワーク環境が整っていない
 - 自宅等において通信環境・勤務スペース等の実施環境がないまたは不十分
- ③ 社内でのテレワークのルール作りが不足
 - 労務管理やセキュリティ等、社内の仕組み作りに対する懸念が払拭できない
 - 会社の所属部署や上司からの理解が得られず、「出勤が当たり前」「出勤を命じられている」という状況

【移】次世代自動車の導入、環境負荷がより少ない移動へのシフト

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

自家用車の購入や移動手段の検討時に、次世代自動車や公共交通機関が優先的に検討されることの一般化

- 温対計画では、2030年度までに、「新車販売台数における次世代自動車の比率」を50~70%とし、そのうちハイブリッド車は30~40%、電気自動車は20~30%とすることが目標
- 公共交通機関の利用については、2030年度までに「自家用交通からの乗換輸送量」を163億人キロ達成が目標
- 加えて、エコドライブの実施率を67%、通勤目的の自転車分担率を20%とすることも目標

現状

- 2021年度末の新車販売台数のうちハイブリッド自動車は44%で目標を達成済み。一方、電気自動車は1%に留まる
- 2018年度の「自家用交通からの乗換輸送量」は60億人キロ、2015年度末の「通勤目的の自転車分担率」は15%
- 2021年度末のエコドライブ実施率は64%

ボトルネック

- ① 地方部では充電インフラや公共交通機関網を補うサービスが限られ、使いづらい
 - 電気自動車の公共充電インフラの普及や公共交通機関のダイヤ・路線が限られ、それを補完する位置情報サービスや運行情報サービス等との連携も限定的
- ② 次世代自動車や環境負荷が少ない移動に対する内容認知の不足や思い込み
 - 電気自動車は名称の認知度は高いが、性能や充電インフラに対する古い情報や思い込みから敬遠される
 - エコドライブの名称は一定程度認知されているが、具体的なメリットや方法がわからず、実践されていない
 - 自転車での移動は、健康増進等のメリットよりも面倒に感じる事が優先され、短距離でも自動車に劣後する
- ③ 集合住宅等における充電設備導入への合意形成が困難
 - 既存の集合住宅や賃貸住宅では、電気自動車の充電設備に対する管理組合やオーナーの合意取付が困難

【基盤】情報（教育・ナッジ）、インセンティブ

事務局たたき台 [課題まで]

ゴール

- すべての国民が必要な教育・知識を得られ、行動変容に必要なナッジ等の効果的な情報やインセンティブを受けられる
- 行動変容やライフスタイル変革に必要な知識が提供され、行動変容に対する意識及び理解が広く浸透
 - 製品やサービス購入に伴うCO2排出量の見える化と、排出削減量に応じたインセンティブ付与が一般化

現状

- 製品やサービスごとのCO2排出量算定やインセンティブ付与は、いずれも実証的な取組に限られる

ボトルネック

- ① 製品別CO2排出量の算定ルールがわかりにくい
 - カーボンフットプリント算定のガイドラインはあるが、解釈の余地が大きい
 - 取組が一般化されておらず、製品・サービスのカーボンフットプリントの相場感がわからない
- ② CO2排出削減量データの事業者間連携ができていない
 - 各個人の削減量データは算定の前提や形式が異なり、サービス間で連携されず活用されていない
- ③ 基盤的サービスへの参加者が限られ、ネットワーク効果が生じていない
 - 関心の高い参加者が複数のサービスに分散し、ネットワーク効果を生む規模感に達していない

新規提案、意見等の
提出

- ✓ 第9回協議会に向け、**10月6日(金)**までに、新規提案、御意見等の提出、ロードマップへの意見出しを奮ってお願いします
- ✓ 新規予算に対応した事業提案・相談については、**9月22(金)**までにお願いします
- ✓ 本日紹介したプロジェクトについては、それぞれの期限までに事務局までご連絡ください

第9回官民連携協議会

日時：

- **10月20日(金) 10時**～、オンラインで実施予定

議事内容(現時点想定)：

- 10年ロードマップの議論②
- 新規提案プロジェクト など

参加が難しい方向けに協議会動画の共有を行っております。
ご意見等も承りますので、事務局までお気軽にご連絡ください

卷末資料

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

応援拠点

COOL CHOICE 2023 inしずおか

- 内容：
 - ①静岡鉄道の電車とバス一日フリー乗車券の配付の支給と沿線付近のイベントとの連携により、CO2排出量の少ない鉄道利用を促進する周遊企画
 - ②ゼロカーボンアクションに関する体験・学べる場所の提供
- 日時：令和5年11月
- 場所：静岡市内

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者
静岡鉄道

「COOL CHOICE 2023 in しずおか」を企画・開催

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者
静岡鉄道

静岡市内の小学生に対し、11月18,19,23,25,26日のいずれかで利用可能な一日フリー乗車券を約32,000枚配付

企業・団体

ゼロカーボンアクションを体験・学べるイベントブースの出展 (@グランシップ大ホール)

連携先募集:
9/15まで

企業・団体

11月に静岡市内で実施予定のイベントがあれば、情報発信での協力など、周遊企画と連携

連携先募集:
9月末まで

普及・啓発

高校生向けの啓発ワークショップ「Blue Earth 塾」の開催

- 内容：全国各地の高校で、生徒に対し脱炭素製品の開発・普及をテーマに思考・議論を促すワークショップを開催
- 場所：宮城県(11月)
福岡県(12月)

高校

ワークショップが実施される場を提供することで、自校の生徒がサステナビリティについて学ぶ機会を用意

提案者
NPO法人 Blue Earth Project

ワークショップの事前準備、当日ロジ、事後のアンケート調査といった運営面を担当

企業

特定の商品や企業として脱炭素に取り組む上での課題感を、ワークショップにおける議論のテーマとして共有

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

食品小売
事業者

「ララひらたけ」を菌床から採集体験できる場所を提供

連携先募集:
随時

自治体・
百貨店・
その他企業

「0円服の交換会」の開催場所の提供
継続して自主的に運営するための体制構築

連携先募集:
随時

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者

楽々

採集体験のための菌床の提供と、生産技術の普及啓発、提供

農家
企業

農地や遊休不動産を活用し、茸菌床製造・茸生産技術と生産後の菌床を堆肥化する技術を活用した農業の展開

連携先募集:
随時

提案者

ワンピース

「0円服の交換会」を主催し、衣服の管理や当日の運営を担当

提案者

NBS
長野放送

熱中症対策を促すCMを10パターンほど作成し、9月にかけて自社の番宣等の広報枠を使って放映

企業

熱中症対策に貢献する商品をCMにて紹介（キャンペーンCMとのカップリング展開想定）、その他協賛により幅広い放送枠で放映

応援拠点

生産時のCO2排出量が少ない「ララひらたけ」の認知拡大と生産技術の展開

- 内容：自然由来のリサイクル原料とポイラー不使用の発酵技術による省エネ栽培で作られ、また農薬・添加物不使用のきのこ「ララひらたけ」を採集体験できる場の提供と生産技術の展開

普及・啓発

「0円服の交換会」の開催

- 内容：参加者が着なくなった服を持ち寄り、持ち寄った枚数と同数の衣服を無料で持ち帰ることができる衣服の交換会の開催

普及・啓発

熱中症対策を促すCMの作成・放映

- 内容：NBS長野放送が熱中症対策を促すキャンペーンCMを制作する中で、対策の手段となるような製品・サービスを提供する企業と連携してCMを放映
- 日時：令和5年7月～9月下旬

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

応援拠点

「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」でのパネルディスカッション

- 内容：脱炭素をテーマにしたオンラインフォーラムにおいて、産官学の識者が登壇し知見の共有と議論を実施
- 場所：都内ホール
- 日時：2023年8月30日

提案者

読売新聞

「読売カーボンニュートラル・デイ Vol.3」を主催し、また読売新聞全国版朝刊にて広報展開

NTTドコモ

暮らしの中の脱炭素をテーマとするトークイベント（セッション3 始めよう、脱炭素なくらし）へ登壇

応援拠点

紙コップの水平リサイクル構築に向けた実証事業

- 内容：紙コップを消費者自らが洗浄することを前提とした消費者参加型の紙コップの水平リサイクルモデルの構築にあたり、課題の把握、解決策の検討を実証的に行う
- 日時：2023年度

企業・団体
・自治体

食堂など紙コップが使用される場に、紙コップの洗浄機と回収箱を設置。また紙コップ洗浄機の定期的なメンテナンスを実施

連携先募集:
9月末まで

提案者

東罐興業
(東洋製罐
GHD)

紙コップの一次洗浄（使用直後の簡易な洗浄）機械の供給
リサイクル原紙から紙コップを生産

企業・団体

一次洗浄された紙コップの回収・保管
二次洗浄（工場での本格的な洗浄）の実施

連携先募集:
12月末まで

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

応援拠点

環境・防災の啓発活動／製品PR

- 内容：気象キャスターによる環境・防災の啓発活動とともに、環境配慮型の製品・サービスをPR
- 日時：2023年度
- 場所：学校、公民館、科学館

(※上記前回協議会時点の情報)

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

学校	全国の小学校・中学校・高等学校での出前授業を開催
公民館や科学館	イベント・講座を開催
企業	イベント会場の提供 連携先募集：随時

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者 NPO法人 気象キャスターネットワーク	啓発活動、企業様の環境配慮型の製品・サービスのPRを実施
企業	脱炭素に貢献する製品・サービスを紹介、気象キャスターネットワークを連携してPRを実施 連携先募集：随時

普及啓発

「命を守る一部屋（健康省エネルーム推進事業）」の実施

- 内容：健康省エネルームを拡大するため、改修費用を一部補助し、また地域住人・事業者へ普及啓発活動を実施
- 日時：2023,24年度
(2023年度、全国6自治体においてモデル事業を推進)

国土交通省	住宅の省エネ性能を向上させる改修を行った主体に対し、設計等費及び改修工事費の一部に補助金を交付
地方自治体	国土交通省と共に、改修かかる費用に対し補助金を交付（社会資本総合整備交付金を充当） 連携先募集：随時

提案者 健康・省エネ住宅を推進する国民会議

健康・省エネ住宅を推進する国民会議	事業全体の事務局として各自治体と連携先となる事業者を結び、啓発イベントや講習の開催・運営を担当
建築事業者	地域の改修業者に対し、省エネ改修技法の共有や改修指導を実施 地域住民・医療への講習 連携先募集：随時
医療事業者	自治体、地元医療団体・医学部に対し、健康と住環境の関連性に関する学習会を実施 連携先募集：随時
保険事業者	環境改善による健康や介護への影響を医療関係者や自治体と共同調査 連携先募集：随時

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

意識啓発

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト&アンバサダーチームによる環境配慮商品の開発・普及の支援

- 内容：著名人が所属する環境省の取組であるアンバサダー制度を活用し、企業・団体・自治体と連携して持続可能なライフスタイルやウェルビーイングを拡大

自治体

実証の場及びポイント原資を提供いただける自治体との連携を希望

連携先募集：
随時

提案者

アジア航測

実証事業の基盤となるパッケージ「こつこつ(CO2CO2)」(アプリ/サービスを含む)を提供

企業

アプリによる見える化の対象となる製品/サービスを提供する企業との連携を希望

連携先募集：
随時

インセンティブ

国民・消費者の行動を見える化し、ポイント付与

- 地域のゼロカーボン施策の取組と連動する事業モデルの共創

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

脱炭素ポイント付与による府民の脱炭素行動後押し

- 内容：小売事業者等が現在運用しているポイントシステムを活用し脱炭素に資する商品・サービスを購入した大阪府の消費者に対してポイントを上乗せ付与

提案者

大阪府

小売事業者等を募るとともに、脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、上乗せ付与するポイント原資の一部支援

大阪府内の事業者

脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対して、ポイント付与を実施、効果検証の協力（今年度の参加事業者の募集は終了）

連携先募集：
随時

インセンティブ

上記の取組を、自治体・事業者へ展開

- 脱炭素に資する商品・サービスを購入した消費者に対しポイントを上乗せ付与する取組を全国へ展開

提案者

大阪府

上記事業に係る仕組み・実証結果の情報提供

自治体

上記事業の成果等を参考に、大阪府と同様の事業を展開

連携先募集：
随時

応援拠点

食用油の循環型社会実現の為、廃油回収効率化（回収拠点等の設置・広報）への取組

- 食用油の回収率を上げるとともに、回収効率を改善することで植物油メーカーとの協業による販売から廃食油回収までの循環型社会を実現させる
(関係会社へのヒアリングの実施)

コンビニ/GS/
食用油メーカー

廃食油の回収拠点の検討
食用油の販売から廃食油の回収への循環型社会の実現

提案者

モバイルソリューション
ティーアイシー

廃食用油の回収、SAF燃料への転換

自治体/企業

食用油の回収、資源循環について市民への広報を実施

連携先募集：
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

小田急
イベントを開催する場所を提供

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者
PlayBlue
衣類回収、古着の物々交換会、染め直しオーダー受付、アップサイクルブランドの展示・販売を実施するイベントを開催

「洋服染め直し」の魅力発信によるアップサイクルプラットフォームの利用促進を通じたアパレルロス削減

- アパレル企業の滞留在庫のアップサイクル、染め直しサービスの提供

「服の循環を生み出す」コミュニティ形成と場の提供によるアパレルロス削減

- 古着の回収/古着の物々交換/染め直しオーダー受付などのアップサイクルの取組を通じた古着の地域循環

ファッショナブル

商業施設においてサステナブルな社会づくりにつながるテーマについて総合的に発信

- 内容：プラスチック削減や廃品回収、森里川海等をテーマにした展示会、子供向けの啓発を目的とした展示会/ワークショップ「SDGs コトモノカレッジ」等
- 場所：
そごう（横浜店・千葉店・広島店・大宮店）
西武（所沢S.C.・東戸塚S.C.・福井店・秋田店）

応援拠点

提案者
そごう・西武
各店舗において、本取組の企画・主催、場の提供、各種媒体・広報によるプロモーションを行う

企業	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) KDDI、東洋製罐GHD ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
団体/NPO	サステナブルをテーマとした展示を行う ※販売や会員募集は不可	連携先募集: 随時
自治体	サステナブルをテーマとした展示を行う 例) 埼玉県・所沢市、広島県・広島市 千葉県・千葉市	連携先募集: 随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

生活者の環境行動を見える化、評価し促進する仕組み、「The POSITIVE ACTION Initiative」の検討

- 内容：環境行動の可視化とライフログの蓄積の仕組みについて2024年度の社会実装を目標に共同検証を行う
- 日時：2022-23年度
(22年度：構想検討、23年度：実証&実装検討)

自治体

より環境負荷の小さな移動手段への転換や公共交通機関の利用促進のため、住民にインセンティブを付与

連携先募集：
随時

提案者

パナソニック・
NTTドコモ・
楽天・
Code for
Japan

企業/自治体
/NPO/個人

環境行動を評価する基準の統一化

- 環境行動のレベル設計
- CO2削減効果の基準作り

国民の環境行動・CO2削減効果の可視化を可能とする共通プラットフォームの作成

連携先募集：
随時

インセンティブ

移動や購買におけるCO2排出量の可視化とポイント付与による行動変容の促進

- 内容：CO2排出量の可視化機能とポイント発行機能を搭載したアプリケーションの利用により環境負荷の小さな移動手段、購買活動、飲食への転換を促す
- 日時：2023年4月以降

提案者

ANA X

企業

日常の全ての移動をポイントとして貯め、さまざまな特典に交換できるサービスアプリケーション「ANA Pocket」を提供

移動以外の日常生活行動に伴うCO2排出量の可視化技術、ユニークなエコ製品やサービス提供でアプリと連携

連携先募集：
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

ポイント付与による消費者の行動変容促進（グリーンライフ・ポイント事業）

- 内容：消費者の方々が気軽に環境配慮行動に取り組めるような仕組みを提供し、また環境に良い取組を行う企業・自治体の情報を発信
- 日時：2023年4月-

「場・機会」の提供者	企業・団体名 期待される役割
自治体	住民・旅行者等の環境配慮行動を促すため、ポイント付与する施策を実施

連携先募集： 随時

「製品・サービス」の提供者	企業・団体名 期待される役割
提案者	KDDI
企業	auPAY加盟店として本取組に参加 例) そごう・西武
自治体	地域として本取組に参加

連携先募集： 随時

インセンティブ

地域脱炭素・住民の行動変容に向けたポイントの活用

- 内容：地方自治体とのアライアンスを組み、地域ごとに実施
- 日時：2023年4月-

「場・機会」の提供者	企業・団体名 期待される役割
提案者	KDDI
企業	auPAY加盟店として本取組に参加 例) そごう・西武
自治体	地域として本取組に参加

連携先募集： 随時

「製品・サービス」の提供者	企業・団体名 期待される役割
提案者	KDDI
企業	auPAY加盟店として本取組に参加 例) そごう・西武
自治体	地域として本取組に参加

連携先募集： 随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

お客さまへのインセンティブ（特典）付与により再生可能エネルギー電源の普及促進と地域の環境にやさしい取組・活動を支援

- お客さま（CO2フリー電気、環境活動支援・特典）
- 地域のご支援先（活動等資金のご支援、取組・活動の訴求）
- 当社「三方よし」を目指す

インセンティブ

自治体/企業と連携し、購買データを活用した環境配慮型行動の普及促進

- 地域通貨や各種決済手段等との連携を通じ、買い物の利便性向上/市民参加型のエコへの取組等を促進

提案者

東北電力

再エネ由来の電気の契約によるプレミアム支払いを原資に、東北・新潟地域の環境配慮行動を支援する「ecoでんきプレミアム」の提供

企業/団体
/NPO/自治体

特典となる商品・サービスをご提供いただける企業・団体だけでなく、以下を満たす活動支援先を募集

- ① 環境にやさしい取組を進める活動
- ② 東北・新潟地域の取組であること
- ③ CO2フリー料金をお支払いいただくお客さまの納得感の得られる活動

提案者

東芝データ

電子レシートサービス・購買データの提供・活用により、買い物における環境行動変容を促す

企業・自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体・企業を募集

連携先募集:
9月まで

プロジェクトの進捗状況（個別）

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

提案者
NTTドコモ

脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を伝える、中立性・公共性を持ったプラットフォーム「カボニューコミュニティサイト」を提供（<https://caboneu.jp/>）

自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：
随時

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

企業

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：
随時

インセンティブ

中立性・公共性を持ったプラットフォームを通じて脱炭素に向けた活動を行う多様な方（自治体・企業・団体・個人）の声を発信

- 参画者の声をより大きく伝えて国民の脱炭素認知向上



インセンティブ

日常行動の脱炭素貢献を可視化・履歴を蓄積するログ・スコアを通じ、消費者のモチベーション向上を促進

- 日々の生活の中での脱炭素接点を確認し、脱炭素に向けた意識を継続保持



提案者
NTTドコモ

環境サービスの利用状況や移動情報などからCO2削減量や環境配慮への貢献度を見える化するサービス「カボニューレコード」を提供（<https://caboneurecord.web.docomo.ne.jp/>）

自治体

実証事業の取組主体として手上げしていただける自治体を募集

連携先募集：
随時

企業

カボニューの見える化の対象となる製品/サービスの手上げを募集

連携先募集：
随時

インセンティブ

従業員が環境行動を登録しCO2排出・削減量を可視化するアプリを用いて、企業として従業員の行動変容を促し、環境社会実現を目指す
また、企業が社外に発信することで、環境問題に取り組む企業としての認知向上にも寄与する

提案者
NTTコミュニケーションズ

従業員の環境への意識向上・行動変容を促すアプリ「グリーンプログラム for Employee」の提供

企業・自治体

企業として従業員の環境意識を向上/行動変容を促したい企業への参画を呼び掛けるもの

連携先募集：
随時

xx: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

インセンティブ

従業員の行動によるCO2排出削減量を可視化し、複数企業で成果を出すことで、「従業員の行動変容の重要性」を社会に発信し、機運醸成を目指す

- 内容：行動可視化アプリを活用して、自社の従業員の教育/啓蒙を実施したい企業との合同キャンペーン実施
- 日時：7月25日-9月30日

提案者

イーソリューションズ・NTTコミュニケーションズ・NTTコムウェア

企業へキャンペーン参加を呼びかけ、行動可視化データをアグリゲート・発信

企業/団体/国・自治体

「行動可視化アプリ」を活用した自社の従業員の教育/啓蒙のためのキャンペーンにて連携
(現在12社より参加表明有り) 連携先募集: 9/5まで

再エネ

Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーターを戸建てオーナーへ無料提供することで、既設住宅等への太陽光発電設備普及を促す

- 家庭等に向けて、創エネ、予測売電収入、補助金及び導入設備に係る収支情報や、CO2削減量など統合的に提供し、太陽光発電設備の導入意思決定をサポート
- 自治体に向けて、損益シミュレーション提供を通じ、各自治体に即した脱炭素の取組、市民啓発等に役立てていただく

自治体

自治体独自の補助施策の情報を掲載し、消費者に制度の活用を促す

連携先募集: 随時

太陽光関連事業者

自社の特徴等を掲載し、消費者に太陽光発電システム導入を促す

連携先募集: 随時

提案者

東京電力

家屋に係る日射量を機械学習により解析し、太陽光発電導入収支/CO2削減量を自動算出するツール「Suncler」をオンラインで提供

[xx]: 前回協議会からの更新箇所

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

企業・団体名 期待される役割

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

ワーケーション

滞在先地域における地域連携の観点
を踏まえた拠点整備によりワーケー
ションを促す

- ワーケーション利用者数を増やす
ため、コミュニケーションをテーマに、
地域のコミュニティと交流できる
ワーケーションプランを提案

提案者

小田急

国立公園“箱根”の玄関口小田原をワーケー
ション拠点として整備
また箱根全体の未来の環境や観光についての
共創拠点を整備

企業・自治体

ワーケーションプログラムを共同開発

ワー
ケー
ション

SDGsの普及啓発/実践と、
ワーケーションの組み合わせ

自治体 /
地域NPO等

ワーケーションの受入れ

提案者

損保ジャパン

ワーケーション参加者向けのSDGsの普及/実
践に関する研修パッケージ(SDGsカードゲーム
など)/保険の提供

お問い合わせ先/ご連絡先



デコ活応援団事務局
ボストン・コンサルティング・グループ (BCG)

E-mail: Decarbonized@bcg.com

TEL: 03-6387-7198 (直通) ※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 デコ活応援隊 (脱炭素ライフスタイル推進室)

[隊長 (室長)] 井上 雄祐 (いのうえ ゆうすけ)

[担当] 井上 (昇)、酒井、中村、金井、深澤、岩本、渡部

住所: 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

Email: decokatsu@env.go.jp

TEL: 03-5521-8341 (直通)

参考資料

「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) とは

○ 脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます。



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です。



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民・消費者の新しい暮らしを後押し**します。



国際的にも (G7・G20等において)、

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案・発信**
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調を提案・発信**



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します。

デコ活の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する、新しい暮らしを提案をします。



※新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>から確認を。

○国、自治体、企業、団体、消費者等の主体が、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

デジタルも駆使して、多様で
快適な **働き方、暮らし方**
を後押し（テレワーク、地方移住、
ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らし
を支える **製品・サービス**を
提供・提案



2

インセンティブ や効果的な
情報発信（気づき、ナッジ）を
通じた行動変容の後押し
（消費者からの発信も含め）



3

地域 独自の（気候、文化等
に応じた）暮らし方の提案、
支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな
暮らしの全体像を**知り、触れ、
体験・体感**してもらう様々な
機会・場（応援拠点）を
アナログ・デジタル問わず提供

今年度以降、地域・全国へ




デコ活応援団（新国民運動官民連携協議会）

○官民連携で効果的な実施につなげるため、国、自治体、企業、団体、消費者等による官民連携協議会（プラットフォーム）を、新国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図っています。

「官民連携協議会」を立ち上げ



参加者間で協議し、以下のアクションを実施

-  デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出など消費者への効果的な訴求に向けた連携
-  各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開（グリーンライフポイント事業等）
-  政府施策への提案・要望（環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等）

※ポータルサイト（<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>）からお気軽にご参画いただけます。

デコ活応援団の位置付け、機能

- デコ活の中での協議会の位置付け
= 国×自治体×企業×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等を事務局がサポート
➔ 皆様が“やりたいこと”を実現する場として、デコ活応援団をフルスイングでご活用ください！

デコ活応援団：例えば、

- 実証事業、普及啓発、実践事業・キャンペーン等の実施に対する関連予算の活用(シードマネー・呼び水の資金サポート等)
- 参画団体の皆様のご提案を踏まえた連携・マッチング
- G7/G20等におけるグローバルな発信・PRの機会の確保 など

796主体
(265自治体、335企業、
168団体、28個人)
令和5年9月6日時点

10年後の絵姿



個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

<p>デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)</p> <p>1</p>	<p>脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案</p> <p>2</p>
<p>インセンティブ や効果的な情報発信(気づき、ナッジ)を通じた行動変容の後押し(消費者からの発信も含め)</p> <p>3</p>	<p>地域 独自の(気候、文化等に応じた)暮らし方の提案、支援</p> <p>4</p>

ポータル登録数:295件
(デジタル関係:28件、製品・サービス:143件、インセンティブ:97件、地域:27件 ※重複有)
令和5年9月6日時点

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る 国民運動

2024年カーボンニュートラル及び2035年脱炭素目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするため、新しい国民運動を提唱します！
国民生活につながる様々な暮らしの改善・提案を後押しすることにより、国・自治体・企業・団体等と共に、国民・消費者の新しい暮らしを実現します。

提案・取組を登録しよう
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから(Google フォームが開きます)

○ 官民連携実践プロジェクトの組成から実施、実施後フォローまで、事務局等がサポートします。

➔ **マッチング、案件形成、シードマネー、発信PR、効果測定**など
必要な範囲で支援が可能ですので、事務局までお気軽にご相談ください！

- このうち、シードマネーについては、
 - ① 事業ポートフォリオの一部に呼び水的に資金投入することで、
 - ② その後の自走、社会実装・拡大普及が見込まれ、
 - ③ 脱炭素に向けて費用対効果が高いものに対して**資金サポート**を行うものです。こちらも事務局までご相談ください！

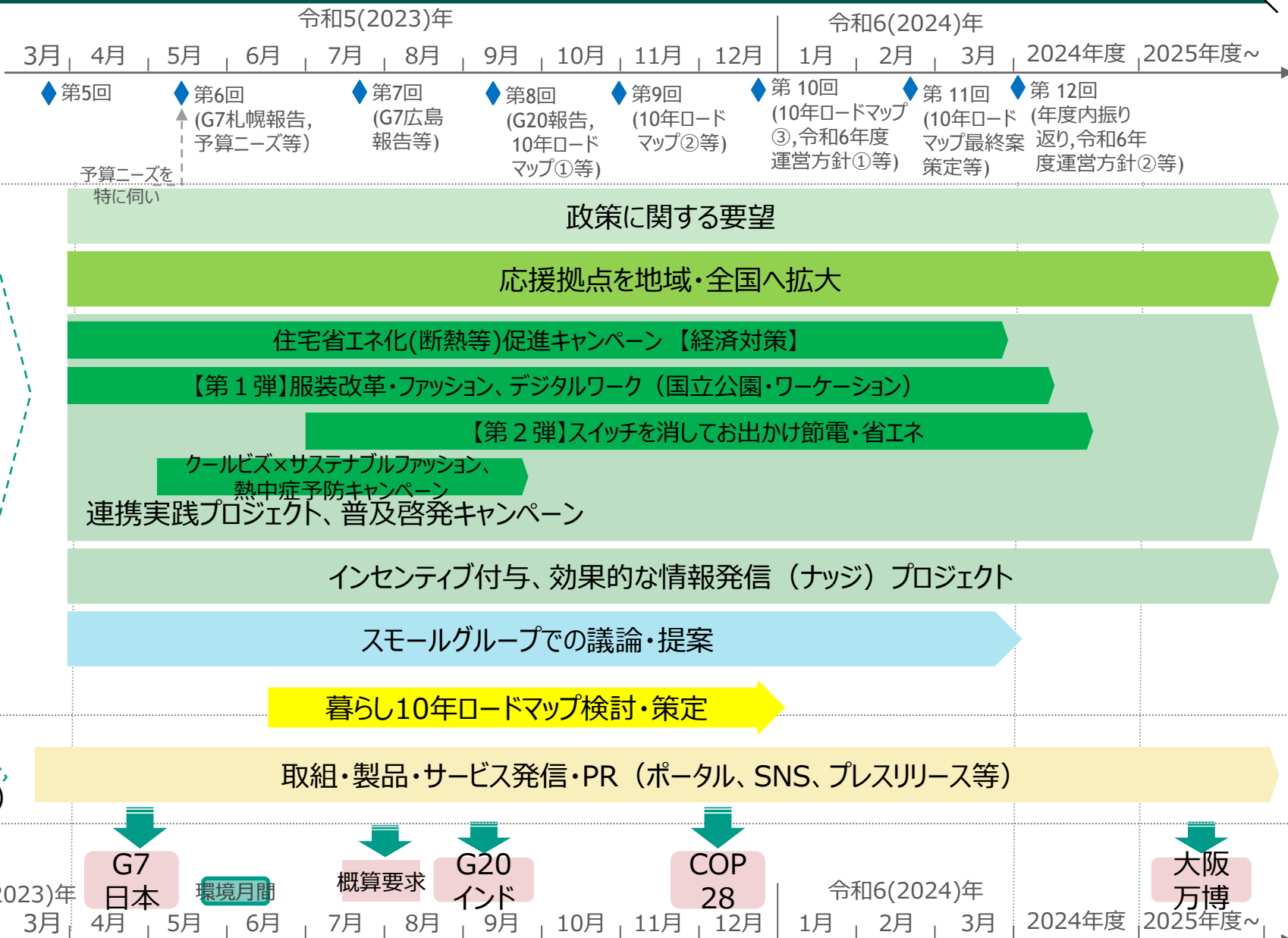
スモールグループの立ち上げ及びテーマ設定

- 個別テーマに係るスモールグループの運用を開始し、積極的な議論を行う場を設定しています。
- スモールグループへの参加の希望や新規テーマ設定についても常時、受け付けています。

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
①住宅	124	<ul style="list-style-type: none"> 消費者にとってストック（既存住宅）の省エネ化の優先度を向上させる取組方法の策定 断熱における課題の特定と、消費者の関心を高める効果的な訴求方法の検討
②インセンティブ/ポイント	138	<ul style="list-style-type: none"> インセンティブを用いた脱炭素の啓発方法検討
③モビリティ	95	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがエコドライブ等の取組を自発的、もしくは能動的に実施可能な仕組みの形成方法検討
④食	93	<ul style="list-style-type: none"> 企業間連携により、自律分散型の地産地消を実現できる具体手段の検討 食の生産、物流の中で、最も脱炭素へのインパクトが大きい分野の特定
⑤宅配/通販	67	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの訴求方法検討 利用者の利便性と環境への配慮の判断軸の策定
⑥サステナブルファッション	73	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の衣服リサイクルへの意識を向上させる訴求手段・方法の検討
⑦教育	105	<ul style="list-style-type: none"> 従業員へ向けた学習環境の整備方法の検討 子供が自分ごととして行動できる教育方法の策定
⑧GHG見える化	148	<ul style="list-style-type: none"> 見える化から、行動変容に繋がる仕組みの策定

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
⑨プラスチック	91	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルの原料収集、原料の選別等の、リサイクルの各工程における課題の特定 上記を解決する技術・運用方法の共有・策定 マイボトル等の、消費者を巻き込んだプラスチック削減方法の策定と、課題の特定
⑩意識啓発	140	<ul style="list-style-type: none"> 省エネに対するネガティブイメージを払拭するための対応方針策定 知識の蓄積のみならず、環境問題を自分ごととして捉え、行動を促すための啓発方法の策定 脱炭素を啓発する適切なターゲットの選定
⑪ワーケーション	55	<ul style="list-style-type: none"> 再エネ活用に向けた実証実験とワーケーションを融合した取組事例の共有 地域住民との効果的な連携方法の策定
⑫生物多様性	86	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性の数値化、計算方法の検討 企業の生物多様性保全に向けた行動指針策定
⑩廃棄物	95	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物のリサイクルにおける課題・原因の特定 ⇒全国規模の一斉回収が難しい ⇒コストが高い（特に複合素材のリサイクル） ⇒運輸時にCO2が排出される
⑭若者	55	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の環境配慮型商品への購買意欲を向上させる取組方法の検討 ⇒企業間イベント、インセンティブ付与の検討

2023年以降のタイムライン



デコ活応援団

意見・提案・調整

デコ活全般

イベント